

## 海岸保全施設監視システム実施設計

### 業務の目的

本業務は、地震時や異常気象時における海岸保全施設の状況確認や災害発生時の情報収集を図るための監視カメラ等を用いた海岸監視システムの検討及び実施設計を行うことを目的とする。

### 設備概要

#### 設置設備

- ・カメラ方式・・・・カラーカメラ方式
- ・カメラ構成・・・・複合一体型カメラ
- ・カメラ装置・・・・三板式超高感度カメラ
- ・旋回装置・・・・プリセット式
- ・ウォッシャーユニット・・・・ガラス面に固着した塩分の汚損洗浄のため取付
- ・通信方式・・・・I P方式

#### 設備の特徴

#### カメラ

- ①監視エリアは、カメラから2 kmとする。
- ②3日間の電源保障をする。
- ③堤防裏側にポール式にて設置。

#### システム

- ①専用回線NTTワイドLANプラスによるネットワーク構成
- ②VPN機能によりインターネット網を用いた事務所間データ伝送を行う。
- ③オールI P方式によるシステム構成とする。
- ④増設を見込んだ事務所設備の省スペース化を図る。
- ⑤ライブカメラによるリアルタイムなインターネット配信。

## 今後の技術的課題

- ①インターネット回線を用いたネットワークの信頼性の向上が望まれる。
- ②潮位データ等、他のシステムとの整合を図っていく必要がある。
- ③関係機関における保有データの共有化（情報交換）が望まれる。
- ④IP v 6 への対応をし、国土交通省他機関（国道、河川事務所）の既存システムとの融合を図っていく必要がある。
- ⑤近年の通信技術は、日進月歩で目まぐるしく移り変わっているため、技術動向、通信事業者へのサービス、コスト等を十分に踏まえ、信頼性、柔軟性の高いシステム構成を提案する必要がある。